

2024年9月12日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
(コード番号：8424 東証プライム)
代表取締役社長 織田 寛明

芙蓉オートリース株式会社
代表取締役社長 長野 克宣

「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」寄付実施のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）および芙蓉オートリース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 長野克宣）は、「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」（以下「本プログラム」）に係る寄付を実施しましたのでお知らせいたします。本プログラムに係る寄付は2021年から開始し、今回で4回目となります。

本プログラムは、2020年10月より開始したもので、「ゼロカーボンシティ^{※1}」を表明した自治体エリア内に設置される新エネルギー自動車（例：ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車）、再生可能エネルギー・省エネルギー設備機器等を導入するお客様（企業、地方公共団体、医療機関・教育機関等の団体）に対して、初期費用なしで導入可能な、リース・割賦等のファイナンスを行うとともに、その契約額の一部についてお客様と連名で寄付を行う寄付金型プログラムで、現在41都道府県のエリアにおいて多くの企業・団体にご利用いただいております。

【寄付の推移】

	2021年度寄付 (2021/7)	2022年度寄付 (2022/7)	2023年度寄付 (2023/8)	2024年度寄付 (2024/7) (今回)
寄付実施先数	3	3	5	7
寄付金総額（千円）	2,716	5,241	10,813	19,939

本プログラムは、脱炭素を志向する地域の再エネ化をサポートするものであり、再生可能エネルギーの拡大に欠かせない「自立分散型エネルギーシステム」の推進および地域社会への貢献を目指し、ゼロカーボンシティを表明する自治体・企業・団体の脱炭素への取り組みを支援してまいります。

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。

今後も、本プログラムの推進により一層力を入れ、お客様とともに脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めてまいります。

◆今回の寄付先（5 団体）

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

日本を含むアジア太平洋地域を中心に、世界の持続可能な発展を目指し、様々な地球環境課題について、実践的・戦略的な政策研究を行っています。さらに、それらの研究成果を元に、各国の政府や自治体、研究機関や国連など国際機関と連携し、政策の実装や運用についての助言や働きかけを行い、またその成果や事例を、共同で開催する国際会議やセミナーなどで発表するなど、積極的に発信されています。寄付金はゼロカーボンシティの推進に向けた各種研究、および情報提供のための費用としての使用を予定されておられます。



（写真左より）

公益財団法人地球環境戦略研究機関

事務局長 川上 毅様

所長 高橋 康夫様

理事長 武内 和彦様

芙蓉総合リース株式会社

顧問 細井 聡一

経営企画部 CSV 推進室長 水谷 高

経営企画部 本社上席審議役 土肥 良一

一般社団法人再エネ 100 宣言 RE Action 協議会

企業、自治体、教育機関、医療機関等の電力需要家及使用電力を 100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示すことで市場や政策を動かし、社会全体の再エネ利用 100%を促進する枠組みである「再エネ 100 宣言 RE Action（アールイーアクション）」を運営する法人です。寄付金は、「再エネ 100 宣言 RE Action」の更なる拡大・発展のために活用される予定です。



一般社団法人再エネ 100 宣言 RE Action 協議会

代表理事 高村 ゆかり様（左）

芙蓉総合リース株式会社

代表取締役副社長 岸田 勇輔（右）

国立大学法人東京大学 大気海洋研究所

地球表層の環境、気候、生命にとって重要な役割を有する海洋と大気の基礎的研究に取り組まれている機関です。寄付金は、気候変動、脱炭素分野の啓蒙に資するイベントアトリビューションなどの研究および情報発信活動に活用される予定です。



国立大学法人東京大学 大気海洋研究所

教授 渡部 雅浩様 (中央)

准教授 今田 由紀子様 (左)

芙蓉総合リース株式会社

代表取締役副社長 岸田 勇輔 (右)

公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構 (フィデアリース株式会社提携分)

環境緑化・森林保全を通じ、環境に関する普及啓発、教育の推進を目的として活動されており、その目的に則した寄付金の活用を通じ、気候変動問題への取り組みを予定されておられます。

秋田風力発電コンソーシアム「秋田風作戦」 (フィデアリース株式会社提携分)

メイド・イン秋田の発電機(風車)の製造や、風力発電に親和性の高い産業の育成と風力発電を通じて気候変動問題やゼロカーボンに取り組む活動をされており、その目的に即した寄付金の活用を通じ、取り組み強化を予定されておられます。

※今回掲載していない2団体につきましては、別途お知らせいたします。

◆プログラムの概要図※2



商品・サービスの詳細につきましては以下リンクをご覧ください。

<https://www.fgl.co.jp/service/zerocarbon.html>

※1 ゼロカーボンシティについて

環境省が推進する枠組みで、「2050年までに温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロ」にすることを旨とする、首長自らが又は自治体として公表した地方自治体のこと。

※2 ヤマトリースは2024年5月からプログラムを提供しているため、今回の寄付対象（2023年度に契約した案件）には含まれておりません。

<関連プレスリリース>

・新たな環境ファイナンスプログラムについて

～「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」のスタート～

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/1886151/00.pdf>

・「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」の利用企業・団体数が500団体を突破

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2413627/00.pdf>

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎・渡邊

電話番号：03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>

芙蓉オートリース株式会社 営業企画部

電話番号：03（5275）2934 URL：<https://www.fuyoauto.co.jp/>